

特集

たくさんの外国人アスリートがやって来た! アジアマスターズ陸上でボランティア通訳が活躍

昨年9月に第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会が北上市で行われました。この大会には、スリランカやインドなどからの外国人アスリートも1,000人近くが参加。この大きな国際大会を支えたボランティア通訳者の陣頭指揮にあたった(一社)北上市国際交流協会の薄衣 景子さんに、この国際的なスポーツイベントの裏側をお聞きしました。

—ボランティア通訳者はどのように集めましたか。

県国際交流協会のメーリングリストなどからかなり広がりました。もちろん、新聞や市の広報にも出しました。盛岡からも、盛岡善意通訳ガイドの会の方たちがずいぶんと協力してくれましたし、岩手大学の留学生も10人以上手伝ってくれました。全体では、106人になりました。



薄衣景子さん

—何語の通訳が必要でしたか。

主に英語でしたね。ほかにも、韓国、中国、台湾、インドネシア、スリランカのシンハリ語など。スリランカからは300人以上の参加者がいたんです。ちょうど北上市内にスリランカ人の研修生が2人いたので、担当してもらいました。

—ボランティア通訳者はどういう場面で活躍を。

競技場、放送係、本部、医務室、賞状配布、表彰、救護所、選手召集所、あとは各競技ですね。アジアマスターズは、アジアマスターズ事務局と、日本マスターズという東京にある組織と、北上の実行委員会とで運営していたので、その流れがわからなかつたので大変でした。例えば、表彰者には賞状があるんですが、それ以外の参加者からも記録証をもらいたいと言われました。記録証をもらうには、本来、自国を出発する前に申し込みが必要だったそうですが、インドとスリランカは(その申込みを)しなかつた。それぞれ300人以上いたので、大多数の人が混乱したんです。選手の気持ちはわかるので、交渉しましたよ。そうしたら(記録証を)出すということになったり、また、翌日にはやっぱり出さないということになったり。それが一番大変でしたね。

活躍したといえば、例えば、大阪空港でインドの方の荷物が出てきませんでしたが、荷物の追跡調査をして、帰国前に渡すことができました。あとは、通訳を務めました。



選手たちに混ざって、バスを着たボランティアが通訳を務めました。

訳者が救急車に乗って同行したこともありました。それは助かったと思いますね。

—文化的に配慮したこと、また生活面で困ったことは。

イスラム圏の人も参加しているので、(ハラールフードにも対応する)インド料理店に出店してもらって、普段から食べ慣れているような料理を出してもらいました。

お金がない、両替してこないのは大変でしたね。駅で途方にくれているイラン人グループがいました。宿泊先の(秋田県)横手からタクシーで会場まで来たために帰りの電車賃がなくなったとのこと。仕方なく市で車を2台手配してもらい、送ってもらいました。あとは、(泊まる)ホテルがないということもありました。予約しないで来るという感覚がわからないんですが。ほんとに、いろいろありましたね。

—今後に向けては。

せっかく集まったボランティアの皆さんを、今回のアジアマスターズ陸上だけで終わらせないで、ラグビーのワールドカップや次のオリンピックに繋げたいですね。これらの練習会場や予選会場など(になるかもしれない)で、このボランティア通訳から繋がっていけばと思います。

アジアマスターズ陸上などを見据えて、北上市では、多くの外国人を受け入れるための準備をしてきました。



多言語での表示

複数の言語で書かれたパンフレット、メニュー、ホームページ作成、情報案内板の作成に、補助金を出しました。

駅前のバス停の表示も、英語・中国語・韓国語で併記されています。



地元版の「指さし対話集」

言葉がわからなくても指をさすだけで通じるよう、地元の名称などを入れた「指さし対話集」を作りました。商店、病院、タクシーなどに配布され、アジアマスターズの期間中も現場で活用されていたそうです。北上市のホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2014073000018/>

岩手県国際交流協会の 取り組み 平成27年度

国際交流センターの運営

いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階の国際交流センターを運営しています。

1.活動場所・情報の提供

年末年始と年2回のアイーナ休館日を除く、毎日9時～20時までご利用いただけます。



窓口

気軽にお声掛けください。



展示コーナー

国際交流センターの企画展示のほか、国際交流団体の活動紹介などにも使えます。



日本語学習コーナー

日本語学習専用のスペースです。



ラウンジ

どなたでも利用できます。ラウンジ内テーブルに限り、飲食もできます。



語学コーナー

予約制です。サークルなどの語学学習をご活用ください。



日本語教材室

日本語学習のテキストがたくさん揃っています。



パソコンコーナー

いつでも情報検索ができます。



図書の貸出

海外関連の本のほか、外国語の本も多数あります。

2.イベント、セミナーの開催

外国人と県民の触れ合いや外国の文化などについて学ぶイベント、国際的な視点で学ぶセミナーなどを開催します。



外国人との交流会

県内に住む国際交流員や留学生などの外国人と触れ合う交流イベントを随时、開催しています。



国際交流イベント

昨年の国際交流イベントには、多くの人に参加いただきました。



いわてグローカル・カレッジ

グローバルな視点で地域のことを考えるセミナーです。



いわて青年国際塾

岩手からグローバルに活躍する人材を育むことを目的に開催しています。

3.外国人や国際交流活動に関心のある方の支援



外国人相談

外国人の悩みや困りごとの相談に応じます。中国・韓国・フィリピンの方を対象とした専門の相談員もいます。



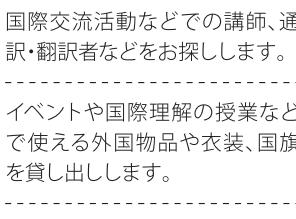
日本語学習支援

外国人の方のための日本語指導ボランティアのご紹介、各地の日本語教室のご案内をします。



訪問学習受け入れ

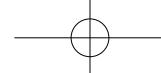
国際交流センターへの訪問学習を受け入れています。



国際交流活動などの講師、通訳・翻訳者などを探しします。

イベントや国際理解の授業などで使える外国物品や衣装、国旗を貸し出します。

国際理解ワークショップの講師を紹介します。



平成27年度、岩手県国際交流協会では、岩手県の国際交流・協力・多文化共生を推進する様々な事業の中で、新たに次の取り組みを強化します。



市町村国際交流協会の支援強化

県内の市町村国際交流協会が地域の国際交流の拠点としてより一層充実した活動を行うために、県内を4地域に分けて担当者を配置し、市町村国際交流協会をバックアップしていきます。

情報提供

県内外の最新情報を、随時お伝えしています。



掲示板

県内外の国際交流・協力のイベントや事業を紹介します。



情報紙「jien go」

イベント情報など、日本語、英語・中国語の情報紙を県内の主要施設などに配置しています。

世界と岩手に貢献する人材の育成

海外への関心の高い若者の拠点として「世界とのかけはしクラブ(仮称)」を設置し、世界と岩手に新しい価値を創造する人材の育成に努めます。



機関誌「いわて国際交流」

県内の国際交流・多文化共生の取り組みなどを読み物で紹介しています。



ホームページ

ホームページ(<http://iwate-ia.or.jp/>)で、県内外の国際交流のイベント、お知らせなどを紹介しています。Facebook, twitterも随時更新!

県内の国際交流・多文化共生の支援

1.市町村国際交流協会や 県内の国際交流団体の活動支援

県内の国際交流関係団体との連絡会議や意見交換会などを実施します。

県内各地域の海外への関心の高い若者の拠点として「世界とのかけはしクラブ(仮称)」を設置します。

国際交流関係団体、日本語教室を対象に助成を実施しています。

市町村国際交流協会との連携強化にあたり、市町村国際交流協会を対象とした助成事業を実施します。

2.震災被災地域の支援

被災地の国際交流協会等団体の活動を支援します。

被災地外国人相談員を配置し、外国人の方々の相談に対応します。

平成27年度の事業計画や収支予算書などは、岩手県国際交流協会のホームページに掲載しています。

イベントなどの実施スケジュールは、日程が決まり次第、ホームページや情報紙などで随時お知らせします。

この他にも、様々な活動をしています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

(公財)岩手県国際交流協会

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5階

TEL.019-654-8900 FAX.019-654-8922

Eメール iwateint@iwate-ia.or.jp

賛助会員を 募集しています

公益財団法人岩手県国際交流協会では、趣旨に賛同し、事業を支えてくださる賛助会員を募集しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

**賛助会費は県内の国際交流・国際協力・多文化共生の
公益目的事業に役立てられます。**

年会費(1口)

- ① 個人会員 3,000円
- ② 団体会員 10,000円
- ③ 学生会員(生徒を含む) 1,000円

会員特典

いち早くお届けします!

- ・協会の発行物
- ・イベントなどの案内



お得なサービスが受けられます!

- ・当協会イベントなどの参加費を優待割引
 - ・提携店舗の各種サービスを利用可能
- ※サービス例:「旅行商品の合計代金より3%割引」など
提携レストラン・ショップ・旅行代理店の一覧マップを差し上げます!▶



税制上の優遇措置を受けられます!

賛助会費には、特定公益増進法人への寄附として、所得税・法人税の税制上の優遇措置があります。

こちばマメ知識コーナー“ペラゴ”



アメリカの卒業式

日本では3月が卒業式の時期ですが、アメリカの学期末はまだ先です。アメリカの一学年はたいてい5、6月に終わり、8、9月から始まります。夏休みは、期間はとても長いのに宿題というものはほぼありません。私も大学を卒業するまでずっと、夏休みの間は宿題はありませんでした。

また、アメリカの幼稚園や小学校には卒業式や入学式がありません。大学ですら、入学式は行いません。幼稚園から高校（アメリカでは「K-12」と言います。「K」は幼稚園、「12」は高校3年生の意。）までと同様に、大学が始まる1、2ヶ月ぐらい前にはいつどのクラスに行くか通知が来るので、初日から授業に行きます。

アメリカの学校生活で、最も大きな行事は何といっても卒業式です。高校の卒業式では、式の2週間前から卒業生全員で何時間ものリハーサルが行われます。卒業後はそれぞれ離れてしまうので、卒業式当日は同級生と過ごす最後の日としてとて

も感動する一日となります。さらに、大学の卒業式は高校の卒業式とは比べものにならないほど盛大に行われます。大学では勉強量も多く、簡単には卒業ができません。学費も驚くほど高いので、大学を卒業するということは学生にとって一番開放感を感じるときなのです。卒業式では、卒業帽とガウンを借りて着ます。さらに卒業用のストールも羽織ると、映画のワンシーンのようです。また、プロのカメラマンに写真を撮ってもらったり、卒業帽をデコレーションしたりします。見えないにも関わらず、とても高価な洋服をガウンの下に着る人もいます。式に厳しい制約はなく、みんな好きな所に座り、携帯電話を見る人や家族や友人に手を振る人もいます。式の後は家族や友人と集まり、花や卒業ネックレスをもらったり、豪華なディナーに行ったりします。

今年卒業した人は、“Class of 2015”と言います。卒業を祝う言葉は、“Congratulations”または“Congrats!”。今年の卒業生には、“Congratulations to the Class of 2015!”と言ってあげましょう。

監修 チョユミさん(岩手県国際交流員)

読者 ➤➤➤ 協会

前号にお寄せいただいたアンケート&クイズの回答の中から、いくつかをご紹介します。

- 来日(県)の外国人、海外在住の岩手県人のインタビューやレポートをとても興味深く読ませていただきました。他の文化や習慣を尊重しながらも、自国への誇りをしっかりと持ち、その魅力を伝えようとするスタンスが「素晴らしい！」と感じました。これからも国際交流の情報をたくさん発信してください。応援しています。
- 食べ物はとても興味がある分野なので、国によって食文化が違うことがよく理解できてもしろかったです。タイでは、日本と同じく箸を使うときもあるけど、使い方が少し違うという部分が驚きました！

みなさまからの貴重なご意見、ありがとうございました。これから機関誌の参考にさせていただきます。今号のアンケート&クイズにもご協力をお願いします！

アンケート&クイズ

今回のクイズは、過去に開催された国際交流イベント「ちゃつとランド」の中からの出題です。

オーストラリアのスラングで、「sanga」とはどんな意味のことばでしょうか。

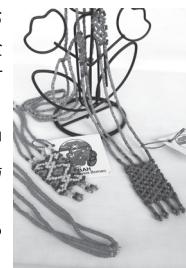
- 1.サンダル 2.サンドイッチ 3.ミサンガ

クイズの正解は、次号をお楽しみに！

前号のクイズのこたえ

ベトナム国内のホンダのバイクのシェアは、なんと約70%！ベトナムでは「バイク=ホンダ」なのですね。ということで、「1.ホンダ」が正解です。

機関誌「2015いわて国際交流(Vol.78)」をお読みいただきありがとうございます。今後の企画・編集の貴重な資料にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。アンケートとクイズに回答いただいた方の中から抽選で5名の方にマレーシア・ボルネオ島の手作りビーズネックレスをプレゼントします。とじ込みのはがき、Eメール、ホームページからご回答ください。



※2015年7月31日当日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。ネックレスの色はお任せください。

語教室

英語・中国語・韓国語・フランス語・ロシア語など。

celc 株式会社 セルク

〒020-0066 岩手県盛岡市上田3丁目15-20

Tel 019-621-8145 Fax 019-621-8146

翻訳 通訳

各種学会やセミナーなどの通訳・司会、企業の商談会など。お気軽にご相談ください。

●メール info@celc.co.jp

●ホームページ www.celc.co.jp

わたしたちは、
FSC®森林認証で
お客様のエコロジー対策に
貢献します。

hokushu
YAMAGUCHI HOKUSHU PRINTING CO., LTD.



FSC® C007678
責任ある森林管理のマークです。
認証取得日 2007年5月7日

山口北州印刷株式会社
http://www.hokushu.com/

本社・工場
〒020-0184 岩手県盛岡市青山4-10-5
tel. 019-641-0585 fax. 019-648-1020

賛助会員と
巡る!

エスニックレストラン・グルメレポート

当協会賛助会員限定、エスニックレストランの特典をご紹介!

今回のグルメレポートは、中ノ橋通にあるタイ料理のお店「Baimakrut(バイマックルー)」にお邪魔してきました。一緒に行ってくださったのは、賛助会員の森敬司(もり けいし)さんと奥様のてる子さんです。森さんは、平成4年から当協会の賛助会員としてホストファミリーとしてご協力いただいています。また、高校球児であった森さんは甲子園にも出場したことがあるお方です。

「Baimakrut」には、初めて来店したというお二人。店内にはタイの国旗や飾りが飾られ、テレビではタイの音楽番組が流れていて、エスニックな雰囲気が感じられます。嫌いなものはほとんどなく、「何でも食べる」という森さん。タイ語を勉強していたこともあるそうです。メニューにはたくさんのタイ料理が並んでいて、お二人は楽しそうに選んでいました。その中でもお気に入りは「エビのすり身の揚げパン」。癖もなく軽い食感です。「チェンマイのソーセージ」もピリッとした香辛料が効いていて、ビールによく合いそうです。辛い物が少し苦手だという奥様も「タイ料理は辛いけれど、ここは食べやすい」と笑顔。

今まで、54名の外国人を受け入れている森さんご夫妻。ホストファミリーを続ける秘訣は、「気を遣いすぎないこと」だそうです。本当の家族のように、自然に受け入れることがおもてなしではないかと話してくれました。初めてホームステイを受け入れたのは、シカゴユースオーケストラの高校生が来県したとき。当時受け入れた生徒たちは、20年以上年賀状の交流があるそうです。他にも、卒業式や結婚式に呼ばれたりしたことがあったと、心温まるエ



ピソードも披露してもらいました。いつまでも「縁」を大切にしているご夫妻。こうした草の根交流が、もっと広がっていくことを望んでいました。

おいしい料理のおかげで、森さん夫妻の素敵な思い出話を尽きることはありませんでした。



■Baimakrutの賛助会員特典

ディナータイムにお料理ご注文の方にソフトドリンク一杯サービス。(注文時賛助会員会員証を提示、現金またはクレジットカード払い)

Baimakrut

住所:〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-1-22

中の橋106ビル 101

電話/FAX:019-622-8109

営業時間:11:30~15:00(ランチタイムラストオーダー14:30)

18:00~24:00(ラストオーダー23:00)

定休日:月曜日

英語で学び、国際感覚を身につける

盛岡初 1日5時間、英語で過ごす「イマージョンプログラム」を導入



FRIENDS INTERNATIONAL KINDERGARDEN

フレンズ国際愛児園

盛岡市北山1丁目5-5 (ビッグハウス上盛岡店裏)

TEL 019-626-6086

保育時間/9:00~14:00 (延長保育 8:30~18:00)





岩手県と「ゆかり」のある海外在住の方から、現地の様子を伝えていただきます。



滞在国概要

国名：パラグアイ

面積：406,750km²（日本の約1.1倍）人

人口：669万人（2012年、世銀）

民族：先住民族とスペイン人の混血（メスティーソ）95%、先住民2%、欧州系2%、その他1%

言語：スペイン語、グアラニー語

（出典：外務省ホームページ 2014年9月現在）



福井ラウラ美穂さん（ふくいらうらみほ）

パラグアイ生まれの日系二世。祖父が岩手県出身で、父が4歳の時にパラグアイに移住。

岩手県の伝統芸能である鬼剣舞を祖父の代から受け継いでいる。

2013年にパラグアイで会計士の資格を取得した後、岩手県技術研修員として盛岡市で半年間経営・会計について学ぶ。現在は、パラグアイ・イグアス移住地の日本人会が経営する採石場で、事務の仕事をしている

「南米の日本 イグアス移住地」

福井ラウラ美穂さん

from パラグアイ



私は、南米のパラグアイ・アルトパラナ県イグアス移住地で生まれ育ちました。パラグアイは、来年で日本人移住80周年を迎えます。パラグアイには、日本人移住地が7つあり、約7,000人の日系人が暮らしています。その中の一つが、私が住んでいるイグアス移住地です。およそ220世帯の日系の家族が暮らしていて、主に畜産と農業を営み、大豆、トウモロコシ、小麦などを栽培して海外に輸出しています。

私たちのような日系2世、3世の子どもたちは、幼稚園の時から、午前はスペイン語学校に通い、午後からは日本語学校に通って言語を学びます。そのため、家族や親戚と話すときは日本語、パラグアイ人の友達と話すときにはスペイン語とグアラニー語、ブラジル人の知り合いと話すときはポルトガル語と、皆さんマルチリンガルです。

移住地のスーパーには、酒、昆布、海苔など色々な日本製品が売られています。その他にも、手作りの美味しいみそ、梅干し、豆腐、漬物などを手に入れます。日本食の飲食店もたくさんあり、お寿司、親子丼、から揚げなどが食べられます。最近、日本からの旅行者に大人気なのがラーメンです。移住地には、ラーメン店が3店舗あり、の中でも本格的な豚骨ラーメンとあっさりとした塩ラーメンが人気です。

日本の文化もたくさん根付いています。岩手の伝統芸能の一つである岩崎鬼剣舞、和太鼓、日本舞踊、獅子舞、行事では、カラオケ大会、成人式、敬老の日、子どもの日には日本語学校の子どもたちがまわしを締めて相撲大会が行われます。移住地全員参加の大運動会では、綱引き、玉入れ、障害物競走、リレーなどの種目があります。12月には夏祭りが行われ、日本同様にたこ焼き、焼きそば、金魚すくいなどの屋台が並び、みんな浴衣を着て、踊ったり、食事をしたりしながら楽しめます。お祭りの最後には青年たちが神輿を担いで会場を練り歩きます。結婚式があれば、移住地総出でお祝いをしてくれます。お母さんは、3日前から料理の準備に取り掛かり、およそ300人から700人分のごちそうを準備します。お父さんは会場の準備や飲み物を用意してくれます。

パラグアイの気候はとても温暖で野菜や果物がよく育ちます。野菜やおかずのあすき分けもよく近所の人からもらいます。私の住んでいる移住地は田舎で、これといって特別なものはありませんが、思いやりや助け合いの精神はとても強く、移住地全体が大きな一つの家族のようです。



いわて国際交流 Vol.78 2015

（公益財団法人岩手県国際交流協会機関誌）http://www.iwate-ia.or.jp/ E-mail:kikanshi@iwate-ia.or.jp

[発行] 公益財団法人 岩手県国際交流協会

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通一丁目7番1号 いわて県民情報交流センター（アイーナ）5階
TEL.019-654-8900 FAX.019-654-8922

[印刷] 山口北州印刷株式会社

〒020-0184 盛岡市青山4丁目10番5号
TEL.019-641-0585 FAX.019-648-1026

国際交流センター

いわて県民情報交流センター（アイーナ）5F

■開館日／毎日

■開館時間／9:00～20:00

■休館日／年末年始、アイーナ休館日（年2回）

■交通のごあんない

・盛岡駅から徒歩4分（東西自由通路経由）

・東北自動車道 盛岡ICから車で8分

